

アーティストたちの未知なるものへの挑戦

いちかわ芸術祭は、千葉県立現代科学産業館を会場とし、産業と科学技術の発展を体験しながらアートを通して学び、子どもから大人まで幅広い世代が楽しむことができる展覧会です。昨今の美術の表現方法は多種多様となっています。美術という枠から飛び越えた未知なるものへのアーティストたちの挑戦を体感できる展覧会です。

開催概要

会期：2024 年 1 月 16 日（火）—3 月 10 日（日）

会場：千葉県立現代産業科学館

開館時間：9：00—16：30 最終入館は 16：00

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、2 月 27 日（火）

入館の際は千葉県立現代産業科学館の入館料が必要です。

一般 300 円/高・大学生 150 円 *中学生以下・65 歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：千葉県誕生 150 周年記念いちかわ芸術祭実行委員会

協賛：ニッケコルトンプラザ 山崎製パン株式会社

アートディレクター：豊福亮（株式会社 Office Toyofuku）

出展作家:秋廣誠/大野修平/小阪淳/種子島宇宙芸術祭/千田泰広/千葉工業大学 CIT Brains/千葉商科大学棚沢順研究室・木村麻耶・伊藤美由紀/Kuan-Ju Wu + 開元宏樹 + 寛康明/東北大学 Smart Robots Design Lab./Nibroll/宮原はな/渡辺志桜里

お問合せ:千葉県誕生 150 周年記念いちかわ芸術祭実行委員会（事務局：市川市文化国際部 文化芸術課）

住所：千葉県市川市八幡 1-1-1 電話番号 047-712-8557

展覧会の見どころ

出展するアーティストたちは、日々技術を磨き、それぞれが抱える問題に対して表現方法を模索しています。しかし、彼らが表現したいものは技術力ではなく、技術を通してその先に見えるもの「自然の美しさ」「人と人との繋がり」など私たち一人一人が思い描く未来そのものかもしれません。現代産業科学館を背景に、アーティストたちが見ている未来への希望を一緒に考えてみましょう。

- ① 精巧な技術で作られた大野修平の作品は、一見本物の昆虫のように見えますが実際そのような模様をした昆虫はこの世界には存在しません。しかし現在の地球環境の変動によって近い未来、こんな昆虫が現れる時代も来るのではないかと想像させられてしまいます。



- ② 世界各国で作品を発表している千田泰広の作品「Brocken」。屋外に設置された無機質な立方体の中に入ると、そこは光の世界が広がっています。まるで一瞬、違う世界に迷い込んでしまったような錯覚になる作品です。見慣れている太陽の光はこんなにも私たちに届いていたのかと改めて再認識させてくれます。



- ③ 千葉工業大学 CIT Brains がデモンストレーションを行うのは、ロボットサッカー。ロボットたちが一生懸命ボールを蹴り、転んでも起き上がる。まるで太陽の下で子どもたちが汗を流しながらフィールドにいるような愛おしさを感じさせます。しかしその裏には高い技術力、作家たちの血の滲むような努力があることを忘れてはいけません。

- ④ Kuan-Ju Wu + 開元宏樹 + 笈康明が発表する作品「Signs of Water」。箱の中の水が不可思議な動きを見せます。コンピューターによるプログラムで動かされている水に生命の息吹を感じるのは、私たちに伝えたいことが技術力だけではないからでしょう。



- ⑤ 箏の弦は通常 13 本、二十五絃箏は弦が 25 本あり 3 オクターブ+3 音の音域になります。千葉商科大学の学生が制作した動画を背景に二十五絃箏奏者木村麻耶が演奏を行います。(2 月 18 日) 古典的な箏の演奏と、映像のコラボレーション。市川市民なら誰でも知っている中山法華経寺に、一日限り箏の音色が響きます。



クレジット@MIKAGE

関連イベント

1) トークセッション「集落というマイクロ/宇宙というマクロー異なる世界からみた未知とはー」

2024年1月21日(日) 15:00~15:40 会場: 現代産業科学館サイエンスドーム (要予約)

わかりやすい解説で、お話を聞くと宇宙が大好きになってしまう国立天文台准教授 縣秀彦さんと、千葉県誕生150周年記念事業総合ディレクターを務める北川フラムさんによるトークセッション「集落というマイクロ/宇宙というマクロー異なる世界からみた未知とはー」を開催します。異なる分野でそれぞれの世界と人を結ぶ立役者として活躍しているお二人のそれぞれの未知についてお話していただきます。(進行役: 柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) アートコミュニケーション担当ディレクター 小山田裕彦さん)



2) カラフル切り絵でロボットを描こう

2024年2月3日(土) ①10:00~11:00②14:00~15:00 2月24日(土) ①10:00~11:00②14:00~15:00

会場: 現代産業科学館 研修室 (要予約)

紙に水彩で色を塗り、できたものを切ったり貼ったりして、自分だけのロボットを描きます。

にじみ、ぼかしなどの方法で、思いもよらぬ色彩のロボットを描いてみましょう。講師: 宮原はな

対象: 3歳以上 未就学児の参加は保護者同伴



3) ロボットサッカーデモンストレーション

2024年2月18日(日) 10:00~16:00 3月3日(日) 10:00~16:00

会場：現代産業科学館 企画展示室（予約不要）

千葉工業大学 CIT Brains によるロボットサッカーのデモンストレーションを行います。

4) 「箏と写<生々流転>」

2024年2月18日（日）13：30～15：00 会場：中山法華経寺（要予約）

二十五絃箏奏者木村麻耶と千葉商科大学政策情報学部の学生によるコラボレーションコンサート開催

出演：木村麻耶（二十五絃箏）、伊藤美由紀（作曲）、糊沢順（映像） 映像制作：千葉商科大学政策情報学部



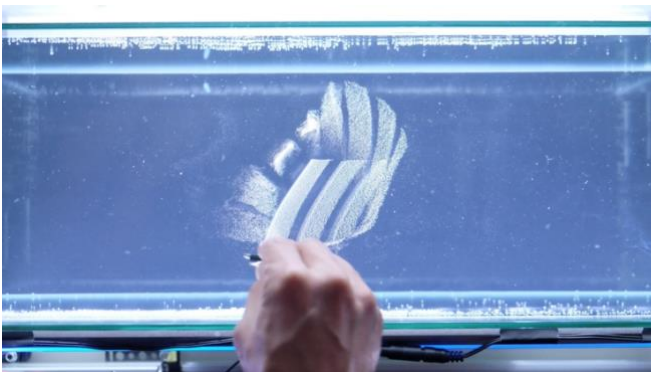
5) 「水素で水中に絵を描こう」

2024年3月9日（土）10：00～12：00

会場：現代産業科学館 研修室（要予約）

水素を使って、水の中に絵を描きます。講師：秋廣誠

対象：小学生、中学生



6) ロボット車椅子ダンス 公演会

2024年2月12日（月・祝）14：00～14：30

会場：現代産業科学館 企画展示室（予約不要）

東北大学 Smart RobotsDesignLab.では、障がいを持つ人が車椅子に座った状態でダンスを踊ることができるロボットの研究を行っています。今回、Nibroll と共同公演いたします。

*Nibroll は矢内原美邦主宰のパフォーマンスカンパニー。舞台のみならず、美術館でのパフォーマンス、ビジュアル作品の発表などダンスや身体表現の可能性を追求している。東京を主な活動拠点としながら、欧米やアジアなどでも作品を発表し、注目を集めている。



7) ギャラリートーク

2024年3月10日(日) 13:00～ 会場：現代産業科学館(要予約)

出展作家と本展アートディレクターを務める豊福亮による作品解説を行います。会場を一緒に巡りながら、各品の見どころや、現代美術作品の鑑賞方法などについてお話しいたします。

イベントはやむを得ず変更または中止になる場合がございます。

イベントの詳細情報、申込はホームページをご確認ください。



<https://ichikawa-artfest.jp/event/>